

2025年12月19日

各 位

株式会社ダイキアクシス
(東証スタンダード 4245)

【ダイキアクシス】海外現地法人における活動状況について

株式会社ダイキアクシス（本社：愛媛県松山市、代表取締役社長：大亀 裕貴）の海外現地法人における活動状況等につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

1. バングラデシュにおける国際NGOとの覚書（MoU）締結について
2. インド学生向け環境調査・研究コンテストの開催について

1. バングラデシュにおける国際NGOとの覚書（MoU）締結について

当社の連結子会社であるDAIKI AXIS BANGLADESH LTD.（ダイキアクシス バングラデシュ）では、水・衛生専門の国際NGO「WaterAid」のバングラデシュでの活動団体『WaterAid Bangladesh』との間で、覚書（MoU : Memorandum of Understanding）を締結いたしました。



WaterAid BangladeshとのMoU締結セレモニーより
(中央 : Hasin Jahan氏 - WaterAid Bangladesh / Country Director,
左隣 : 大亀 裕貴 - ダイキアクシス / 代表取締役社長、
右隣 : 小和瀬 墓 - ダイキアクシス / アジア事業統括部長)

本覚書では、バングラデシュに設置される公衆トイレに対して、ダイキアクシス バングラデシュが浄化槽を提供し、その効果検証を進めることや、バングラデシュの持続可能な衛生環境の推進に向け、研究・イノベーション・政策推進で連携することを定めております。

バングラデシュ国内では、下水道や家庭用浄化槽（STP）の普及に加え、公衆トイレ等の公共・共用衛生施設の普及が進んでおります。一方、設置されている公衆トイレ等は、施設の持続的な管理の問題や安全上の理由等から、首都ダッカにおいても、使用できない状態となっているものが散見されます。

WaterAidは1981年にイギリスで設立され、40年以上にわたり水・衛生分野に特化して活動してきた国際NGOであり、現在、世界30か国に拠点を置いて活動しています。SDGs（Sustainable

Development Goals：持続可能な開発目標）の目標6では『安全な水とトイレを世界中に』を掲げていますが、WaterAid Bangladeshは、バングラデシュにおける水・衛生分野の進化と世界的な変化に対応し、2030年までに水・衛生へのアクセスを普遍的に実現、SDGsの達成を目指す戦略計画を策定しており、同国内でも積極的に活動を展開しております。

ダイキアクシス バングラデシュでは、本覚書での取り組みを通じてWaterAid Bangladeshとのさらなる連携を深めるとともに、バングラデシュ政府機関への働きかけやWaterAidが活動する他国での展開も含め、浄化槽および排水処理装置の普及、持続可能な水・衛生環境のさらなる保全・改善に努めてまいります。

2. インド学生向け環境調査・研究コンテストの開催について

当社の連結子会社であるDAIKI AXIS INDIA PVT. LTD.（ダイキアクシス インド）では、インドの大学生を対象とした水環境改善に関する調査・研究を行う「DaikiAxis Innovative Application League」を開催いたします。

【コンテスト公式サイト】<https://daikiaxis.in/dial-2025/> (English)



コンテスト募集案内



コンテスト発表会より(左：K C Pandey氏 - ダイキアクシス インド / アドバイザー、右：大亀 裕貴)

本コンテストは、インド国内の主要大学およびインド経営大学院の学生を対象としており、2025年12月15日の申込み締切り時点で、79大学・272グループからの応募がありました。学生たちは、2026年1月から3月にかけて、インドの水環境の現状を調査し、スワッヂ・バーラト・ミッション（下記参照）や日本をはじめとする他国の成功例、経験・規制等を学ぶ、調査・研究プロジェクトに取り組みます。

環境意識と行動を制度化する長期的な構想も検討し、インドで清潔な水環境を実現するための規制システムや実施規則などのアイデアやソリューションの提案を行います。また、デジタルメディアと従来型メディア両方を用いて、インドでより円滑かつ広範囲に環境意識を広めるための行動計画を提案します。4月にファイナリストによるプレゼンテーションを実施、5月に表彰式を開催、最優秀賞の賞品として日本への報奨研修旅行が授与されます。

2014年、インドのモディ首相は政策として「スワッヂ・バーラト・ミッション（クリーン・インディア・ミッション）」を提唱し、2019年までに約1億2,000万基のトイレを新設、野外排泄ゼロに

することを目指しました。この結果、トイレの設置基数は増加しましたが、農村部等では設置後の汚水処理がなされず、トイレが利用されない状況もあります。2047年までの先進国入りを目指しインド政府が掲げる「ヴィクシット・バーラト」においても、衛生設備と汚水処理は重要な社会インフラ開発の柱の一つとして位置付けられています。

なお、2025年8月、日本国環境省とインド共和国ジャル・シャクティ省（水環境省）との間で「分散型生活排水管理分野における協力覚書」が更新され、浄化槽を活用した分散型生活排水管理に関する協力促進、分散型生活排水管理における情報と専門知識の共有、研修等を通した人材育成等が内容として定められました。2025年11月に現地で開催された本コンテストの発表会には、在インド日本国大使館より書記官にもご臨席いただいております。

3. ダイキアクシスグループについて

ダイキアクシスグループは、「水」を中心とした環境ソリューションを提供し、浄化槽をはじめとする家庭用・産業用の排水処理、住宅設備の販売施工、再生可能エネルギー事業、さらに家庭向けの飲料水サービスまで、持続可能な社会の実現に向けた多角的な事業を展開しています。

排水処理事業は国内だけでなく海外にも事業を広げており、インド、スリランカ、インドネシア、中国、シンガポール、バングラデシュの6拠点を中心に、東南アジア・南アジアで事業を展開し、グローバルなニーズにも対応しています。

【会社概要】

会社名 : 株式会社ダイキアクシス（東証スタンダード 4245）

所在地 : 松山本社 愛媛県松山市美沢1-9-1
東京本社 東京都中央区東日本橋2-15-4 PMO東日本橋

代表者 : 代表取締役社長 CEO 大亀 裕貴

事業内容 : 浄化槽や排水処理装置の開発・設計・製造・販売・施工・メンテナンス、
水回りを中心とした住宅設備機器の卸売・施工、
再生可能エネルギー事業（太陽光発電・風力発電・バイオディーゼル燃料等）
家庭用ウォーターサーバー事業、CVC事業

会社HP : <https://www.daiki-axis.com/>

以上

◆本リリースに関するお問い合わせ先
株式会社ダイキアクシス 経営企画部
E-mail : ir@daiki-axis.com